

コミュニティ農園を はじめるには？

コミュニティ農園の可能性

- 1 付加価値の高い事業にできる**
野菜づくりだけでなく、イベントや細やかなサポートを行うことで、より付加価値を高められます。
- 2 住宅跡地でも畑にできる**
建屋除却あとの空地でも、土入れ工事、水道工事を行えば、畑にすることができます。
- 3 地域を巻き込める**
農に興味がある人が数人集まれば、みんなのやる気を引き出し、空き地を活用できます。
- 4 社会的な価値をもたらす**
周辺の景観や価値の向上、まちの生態系の改善に寄与できる可能性があります。

どんな場所でできるの？



まちの活用されていない宅地を農園に変えることができます。

例えば・・・

密集市街地

接道条件が悪く活用が難しい土地などで、建物を除却した後の空地で実施できる可能性があります。

未活用の駐車場

長年活用されていない駐車場があれば、農園に変えてしまうことも1つの選択肢です。車をあまり使わないマンション住民向けのサービスとしても展開できます。

空き地の暫定利用

活用が決まっている空き地や、建物除却後の未活用地を、暫定的に農園に変え価値を高められる可能性があります。

より大きく事業を展開するなら

広い空き地でイベントスペースを確保

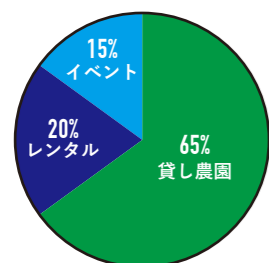
もし広さに余裕があればフリースペースを確保することで、畑だけではなく BBQ などの屋外イベントにも使用でき、さらに幅広い活動が行えます。

畑に近接した建屋を改修する

畑で収穫できた野菜などを使って、料理教室やカフェなどのイベントを開いたり、参加者の交流の場所として活用できます。



収益の仕組み（北加賀屋みんなのうえんの場合）



↑ 主な収入源

- ▶ **65%** 貸し農園収入
市民農園のおよそ5~10倍の価格帯
- ▶ **20%** レンタルスペース収入
畑によって隣接する建物を高めレンタルスペース事業を行う
- ▶ **15%** イベント収入
農園利用者だけでなく外部も参加できるイベントを開催する

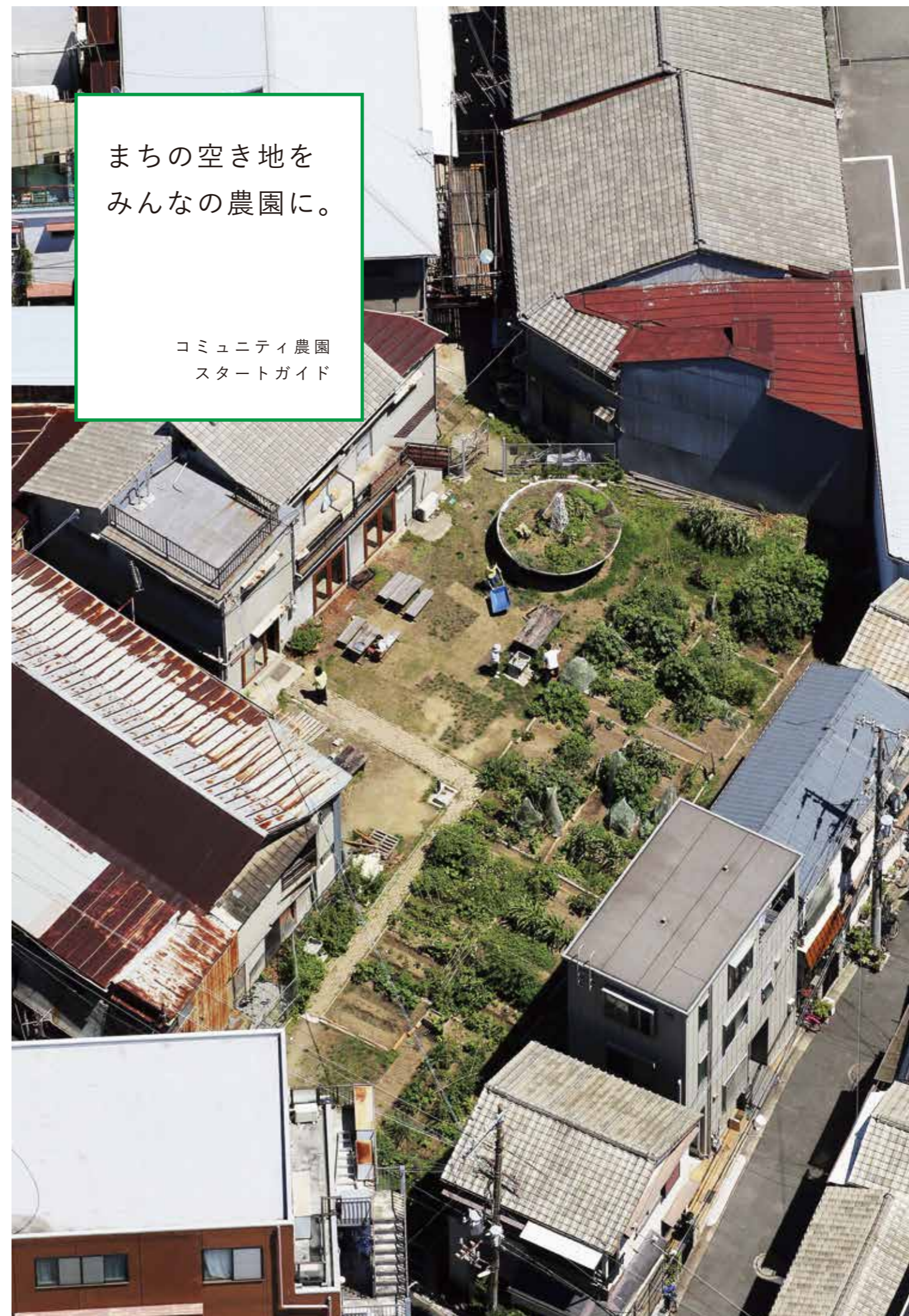
↓ 主な支出

- ▶ 土壤整備費
- ▶ 維持費 土壤・設備
- ▶ 設備費 農具・スペース改修費・水道など
- ▶ 人件費 農園のマネジメント・企画立案

お問い合わせ

コミュニティ農園をやってみたい、またはご不明な点などございましたら NPO 法人 Co.to.hana までお気軽にお問い合わせください。

TEL 06-6654-8830 FAX 06-7635-8227 mail info@cotohana.jp





コミュニティ農園 とは？

コミュニティ農園のコンセプト

ただ単に畑を貸し出し野菜づくりを楽しんでもらうだけではなく、農や食を通して人々のつながりを生み出すことが大切です。



参加者同士が協力しあい
野菜をつくる



農地じゃなくても
始められる



参加者自身が
主体的に活動する



コミュニティづくりの
ポイント

栽培技術を教えるだけではなく参加者それぞれのニーズを引き出し実現をサポートしていくことがコミュニティづくりにつながります。

コミュニティ農園は

低未利用地を活用し、まちに緑と活気をもたらします。

今、日本各地では、少子高齢化や遊休地の増加、地域コミュニティの希薄化などが大きな課題となっています。人口減少社会の中、既存の不動産ストックの活用や、住宅開発ではない新しいまちづくりの考え方が求められています。

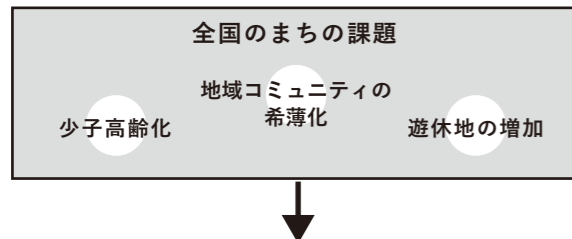
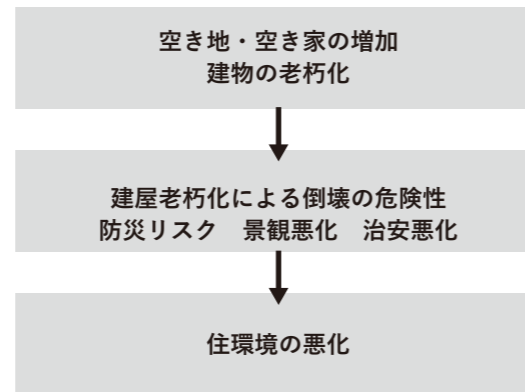
日本の空き地の現状

▶ 多くのまちで空き地の増加（大阪府の場合）
1998年 約670万㎡ → 2008年 約1200万㎡ **2倍に増加**

▶ 密集市街地の問題
全国：約25,000ha（大阪府と東京都はそれぞれ6,000ha）
約6割が東京都と大阪府に存在している

都市部に近ければ近いほど空き地・空き家問題の影響を大きく受ける可能性があります。

空き地・空き家もたらす問題



このガイドブックでは、「コミュニティ農園」という新しい「まちづくり」の方法についてご紹介します。

これまで活用が困難で価値も低く、整備も売却も難しかったような土地を、緑があふれ人が集う農園に変えることができる仕組みです。

みずみずしい四季を感じることができる景観、農や食に関する様々な魅力的な活動を生み出すことで、土地の価値を高め、まちで暮らす人がより豊かになれる可能性があると考えています。

コミュニティ農園

まちに新たな
魅力をもたらす

使われていない
土地を畑に

農を中心に
人がつながる

人

にもたらず
メリット



豊かな緑や農に
触れることができる



新しい人との
出会いが生まれる



健康や学びを得られる

まち

にもたらず
メリット



周辺の不動産の価値を
向上させる



生態系に
厚みをもたらす



防災機能や憩い機能の
ある緑地をもたらす

例・コミュニティ農園の特徴

大阪・北加賀屋みんなのうえんの場合

大阪の住宅と銭湯跡の空き地で農園を展開しています。野菜づくり以外の楽しみも提供することによって、高い付加価値が生まれ、採算性のある事業運営を行っています。



| | |
|------------|----------------|
| 主な価値 | 人との出会い、学び、自己実現 |
| 土地 | 宅地 |
| 参加者層 | 30代～40代女性が中心 |
| 収益性 | 自立した事業運営が可能 |
| 畑貸出以外のサービス | 食や暮らし関連イベント |